

第 16 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	平成 24 年 5 月 14 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 高橋 京太（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 島崎 芳征（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	8 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・抽出委員（島崎委員）から、審議対象契約について、契約方式及び内容別の件数を考慮し、一者応札・応募および随意契約となったものを中心に抽出した旨の報告があった。
（内訳）		
一般競争入札	6 件	
随意契約	2 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 23 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり	平成 23 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】病院危害情報データベース・システムの賃貸借</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本システムにおける情報収集終了後はどのように情報を収集しているのか。</li><li>・本システムと新システムの蓄積データは連動しているか。</li><li>・データが連動していないのであれば、本システムに蓄積されているデータはどのように活用しているのか。</li><li>・次回調達時は事業継続の必要性も検討してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新システムを構築し、情報を収集している。</li><li>・連動はしていない。</li><li>・情報提供や資料要求などで新システムに蓄積されているデータだけでは対応できない場合に活用している。</li><li>・ご意見を踏まえ、必要に応じて検討することとする。</li></ul>
<p>【事案2】平成24年度国民生活センター土日祝日消費生活相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加状況はどうだったか。また、応札者は前回と同じか。</li><li>・一者応札となった要因を把握しているか。</li><li>・今後も本事業を継続する場合、調達方法も含めて改めて検討し、適切な方法で調達するようにしてほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・入札資料交付は12者、説明会参加者は3者だったが、応札者は前回と同様であった。</li><li>・応札に至らなかった事業者に事情を聴取したところ、仕様を満たす人員を常時確保・配置することが困難であるとのことだった。</li><li>・ご意見を踏まえ、今後調達する際には検討することとしたい。</li></ul>
<p>【事案3】地震波による加振試験請負業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・試験は外部機関に発注しなければならない内容なのか。</li><li>・予定価格はどのように設定したか。</li><li>・一者応札となった要因を把握しているか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・被害の未然防止のためには実際に近い地震波による振動を与えて検証する必要があったことに加えて、商品テスト部では加振試験の設備を有していないことから外部機関へ発注した。</li><li>・業者から見積りを徴して設定した。</li><li>・入札参加に至らなかった事業者に聞いたところ、仕様を満たす設備の確保ができない、契約期間内での実施が困難であるとのことだった。</li></ul>

意見・質問	回 答
<p>【事業4】事故情報データベースシステムのアプリケーション仕様変更作業等一式業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募時の応募者は、一般競争入札へ移行後も参加したか。</li> <li>・業者見積りの価格に開きがあったようだが、開発事業者でなければ難しい作業ではないか。</li> <li>・本件においては公平性を担保するための策が講じられているが、今後も同様の調達を行う際には開発事業者が有利とならないよう、引き続き努力してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれも入札説明会には参加したが、応札に至ったのは一者だった。</li> <li>・本システムは特定のハードウェア等に依存しておらず、またシステム設計資料の開示も行なったことから、一定の技術を有していれば開発事業者でなくても実施可能であると考える。</li> <li>・透明性や公平性が担保されるよう引き続き努力していきたい。</li> </ul>
<p>【事業5】パソコン機器の借入及び構築等業務一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年契約のようだが、契約期間はどれくらいか。</li> <li>・予定価格はどのように設定したか。</li> <li>・入札回数は何回だったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年である。</li> <li>・業者見積りに競争性を加味した割引率を乗じて設定した。</li> <li>・3回実施した。</li> </ul>
<p>【事業6】平成24年度消費者問題出前講座の実施業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格は業者見積りによるのか。</li> <li>・前年度に比べて契約金額が高くなったようだが、理由は把握しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に係る講師謝金や旅費、本業務に付随する印刷製本費等の事務費及び実施回数を踏まえて積算しており、業者見積りではない。</li> <li>・島しょ部、山間部での開催が多くなるような仕様としているため、旅費等がかさんだものと思われる。</li> </ul>
<p>【事業7】平成24年度「消費生活専門家による巡回訪問事業」業務運営委託(北海道地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ公募としたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の地域性等を考慮すると、参加事業者</li> </ul>

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実施にあたっては、自治体の協力を得られるよう引き続き努力してほしい。</li> </ul>	<p>が限定的となることが想定されるためである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も都道府県の協力を得られるよう努力していきたい。</li> </ul>
<p>【事業8】ハイスピードカメラシステムの購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーは限られるものなのか。</li> <li>・入札回数は何回だったか。</li> <li>・本件では競争性が発揮されていると思われるが、業者見積りによる予定価格の設定の際には市場価格を調査して比較するなどの工夫をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品テスト用としては限られる可能性がある。</li> <li>・1回の入札で決定した。</li> <li>・今後の調達時にはご意見を踏まえ、必要に応じて検討することとしたい。</li> </ul>